

Car-SAT

移動型衛星通信設備(Car-SAT)は、衛星通信回線を介して、走行しながら中の車両から被災状況を映像送信する車両ことが可能です。災害対策本部等においてリアルタイムに被災状況の把握が可能となります。



機械の諸元

諸元	
通信装置	衛星通信設備 (1回線)、映像送信装置 (1台)、マイクロ電話 (1台)
電源装置	車両用オルタネータに加え、オルタネータ (140A、100V) を追加
燃料容量	70L
運転免許	普通自動車免許
車両寸法	全長4,690mm×全幅1,690mm×全高2,200mm
車両重量	2,260kg
車両総重量	2,870kg
乗車定員	2名
駆動方式	4×4D

- ・走行しながらリアルタイムに映像送信が可能
- ・マイクロ電話またはK-入で車両と通話が可能
- ・荷室スペースを備え、現地で使用する災害対策用通信機器(公共BB、i-RAS)を積み込み可能

●K-入【国土交通省デジタル陸上移動通信システム】の特徴

(Kokudokoutsuu LAnd Mobile systemBy Digital Access)

- ・デジタル変調を行うVHF無線機を陸上で人が手に持ち、または、車両に搭載し、移動しながら通信が可能
- ・無線機同士だけでなく、本局、事務所及び出張所と無線システムで会話が可能

●公共BB【公共ブロードバンド無線装置】の特徴

- ・見通し外通信が可能
- ・移動しながら通信が可能
- ・既存設備との連携による機動的な情報収集が可能

●i-RAS【5GHz無線アクセスシステム】の特徴

(integrated network Radio Access System)

- ・長距離伝送が可能
- ・国土交通省～自治体との臨時通信回線に利用可能
- ・大容量且つ多様な通信が可能

通信イメージ



※本設備に関するお問い合わせは、企画部 情報通信技術課までお願いします。